

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0101	政策名	農林業の振興	施策主管課	農政課	課長名	藤原 康司
政策の目指す姿	農林業者が安定した所得を確保しています						
施策No	01	施策名	農業生産の支援	関係課名	農村林務課、定住推進課		
施策の目指す姿	収益性の高い農畜産物を生産しています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業従事者の減少や高齢化に伴い、農畜産物の生産量の減少が懸念されています。</li> <li>・中山間地域等の生産条件不利地を中心に高収益作物への作付転換が進まず、また生産コストの低減が十分に図られていないため、補助金等で農業収入を確保している状況にあります。</li> <li>・花巻産農畜産物の優位性や特徴を活かしたPRと消費拡大を図る必要があります。</li> <li>・国内の食市場が縮小する中、海外等への販路拡大が課題となっています。</li> <li>・野生鳥獣の生息区域の拡大とともに、農作物の被害が増加傾向にあります。</li> </ul>							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手による振興作物の作付拡大と労働力確保に向け、地域での話し合いや農業団体が新たに開設する無料職業紹介所を利用した農業経営体と担い手農業者以外の農村居住者（非農家、土地持ち非農家等）とのマッチング、ICTを含めた園芸作物の機械化体系の導入を検討する。</li> <li>・農業法人の規模拡大により、作業が同じ時期に重複することから、作期分散のための多様な品種の導入を検討を継続して進める。</li> <li>・生産コストの低減などを図るためのICTの活用や導入に向けた支援を検討する。</li> </ul>
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働力の軽減、省力化のためのICTを活用したスマート農業について、体験試乗会等で市内の農業経営者に広く周知する機会を設けるとともに、機器導入に対する支援を行ったことから導入経営体が増えている。今後は、農業団体が行う無料職業紹介所事業を活用しながら、市内農業法人をはじめとした担い手農業者や集落営農組織が求める労働力確保に向けた仕組みづくりを検討していく。</li> <li>・農業法人の規模拡大により、作業が同じ時期に重複することから、作期分散のための作付品種の多様化、新たな作物の導入が徐々に進んできている。</li> </ul>

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 農業生産の振興 新技術、新品種の導入実証展示ほ場の設置 情報通信技術（ICT）を活用した農業生産支援 中山間地域等生産条件不利地の生産活動支援 土壌改良資材の投入による良食味米生産の支援 家畜防疫や優良乳用牛確保による畜産経営基盤の確立支援
(2) 農業経営の安定化支援 水田農業を中心に野菜、果樹、花き、雑穀、畜産の生産拡大を図る各種補助制度の周知と利用促進 りんごやぶどうをはじめとする収益性の高い振興作物の生産振興 米の需給調整の推進 農業制度資金の利子補給による経営安定化支援 園芸作物、畜産物の出荷販売価格低下時の補償の支援 有害鳥獣の被害防止対策支援、追い払い・捕獲の実施
(3) 農畜産物の消費拡大 市内産地直売所の連携や朝ごはんプロジェクト等による地産地消の推進 都市消費者との交流の推進 花巻産農畜産物の安全性のPRと販売促進

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
振興作物の栽培面積	収益性の高い振興作物の生産状況を示す指標	出典：花巻市農業推進協議会（水田台帳） 旧「JAいわて花巻」が生産を振興（奨励）する作物、新規需要米等（飼料用米、米粉用米、加工用米、備蓄米）、小麦、大麦、大豆、雑穀、野菜（トマト、ミニトマト、きゅうり、なす、ピーマン、いちご、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、レタス、えだまめ、アスパラガス、しいたけ、たまねぎ）、花き（りんどう、小菊、切花）、果樹（りんご、ぶどう、洋なし、ブルーベリー）	ha	目標値		4,400.00	4,500.00	4,600.00		
				実績値		4,027.00	3,921.00	3,971.00		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<p>成果指標「振興作物の栽培面積」・・・【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営農座談会や農協生産部会等機会をとらえて農家へ野菜等を中心に振興作物の作付を推進してきており、地域の話し合いにより策定した地域農業マスタープラン（人・農地プラン）に基づき農地が担い手等へ集積されてきたことにより、担い手の経営判断による振興作物の一定の作付面積が確保されているものの、平成30年からの国による米の生産数量目標の配分廃止に伴い、農業団体による転作過剰を解消するための、県から示された米の生産目安の範囲内での主食用米の作付誘導を行ってきた。前年度より若干振興作物の作付面積は増えたものの、米価が安定していること、園芸作物の導入は労力を必要とすることから農業者は、転作作物の作付よりも機械化体系が整っている水稻生産の意識が高い。</li> </ul>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし なし なし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（農業振興対策事業 農地有効活用事業）農地中間管理事業等を活用し担い手へ集積された農地の面的な集約化。</li> <li>・（農業振興対策事業）農業経営体の労働力確保に向けた農業団体が開設する「無料職業紹介所」との連携・支援。</li> <li>・（水田農業経営安定事業）法人や集落型経営体での水田フル活用による振興作物を中心とした園芸作物導入への支援。</li> <li>・（水田農業経営安定事業）労働力不足に対応したタマネギ等機械化体系が可能な園芸作物等の導入支援。</li> <li>・（地産地消推進事業）地産地消推進のため販売品が少なくなる冬期間の産直施設の対応と集客力向上に向けた支援。</li> <li>・（スマートアグリ推進事業）労力軽減、省力化のための農業へのICT（情報通信技術）関連技術の導入促進。</li> <li>・（花巻米生産確立支援事業）米産地としての地位を確固たるものとするため良食味米の生産のための土壌改良資材施用の利用拡大に向けた有効性の周知。</li> </ul>
<p>新たに取り組むべき事業はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（水田農業経営安定事業・スマートアグリ推進事業）農業の労働力不足解消に向けた対策が必要である。</li> <li>・（スマートアグリ推進事業）生産コストの低減、作業の効率化を図るため、実証事業と併せながら農業へのICT関連技術の導入・普及を更に推進する必要がある。</li> </ul>

### 5 施策の総合的な評価

<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働力の減少に伴い、他の作目と比較し労働力を必要とする園芸作物の生産減少が懸念されることから、ICT関連技術の導入や機械化を含めた新たな園芸振興策の検討が必要である。</li> <li>・規模拡大と労働力不足に伴い、適期の作付ができず生産される農作物の品質の低下を招くことが懸念されるため、作期分散のための複数品種の導入が必要である。</li> <li>・生産コストの削減のため、省力化技術の導入、経営分析の支援が必要である。</li> </ul>
<p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振興作物の作付拡大と労働力確保に向けた、地域での話し合いや農業団体が新たに開設する無料職業紹介所を利用した農業経営体と担い手農業者以外の農村居住者（非農家、土地持ち非農家等）とのマッチング、ICTを含めた園芸作物の機械化体系の導入について市内農機具メーカーから農業改良普及センターと協議する。</li> <li>・農業法人の規模拡大により作業が同じ時期に重複することから、作期分散のための多様な品種の導入について農業団体や農業改良普及センターと連携、協議しながら進める。</li> <li>・生産コストの低減などを図るためのICT関連技術の活用や更なる導入に向けた支援の拡充について関係機関や農業者と協議しながら検討する。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
010	<b>有害鳥獣被害対策事業費</b> 農林産物や人身に対する被害の防止を図った。 (電気柵設置助成49件 被害防止計画捕獲頭数1,545頭)	農村林務	間接・少数	直結	C
			直結度 B		
020	<b>園芸品目経営安定事業費</b> 青果物の価格安定に資する事業に対する負担金造成 (JA青果物出荷販売額1,763百万円 野菜販売数量483千箱)	農政	一致	間接・補完	C
			B		
030	<b>中山間地域農業支援事業費</b> 中山間地域等農業生産条件不利地における集落協定に基づく農業生産活動を支援 (集落協定数 115集落、対象面積 2,701ha)	農村林務	一致	直結	B
			A		
040	<b>農業振興対策事業費</b> 農業団体と連携した農業技術の普及等への支援及び経営安定のため借り入れた農業制度資金への利子補給 (JA農畜産物販売額 10,847百万円)	農政	一致	直結	B
			A		
050	<b>地産地消推進事業費</b> 魅力ある産直運営及び農業の適正使用の講習会、先進地研修へ支援 (産直での商品購入者数 838千人、講習会 1回61名、先進地研修 1回15名)	農政	一致	直結	B
			A		
060	<b>都市農村交流推進事業費</b> グリーンツーリズムの推進、首都圏飲食店への花巻産農畜産物の食材提供とイベントの開催 (教育旅行受入 9校 733名、大人の農業体験ツアー88名)	農政	一致	間接・補完	C
			B		
070	<b>スマートアグリ推進事業費</b> ICT技術を活用した低コスト経営に向けた農業環境を整備 (研修会の開催300名参加 省力化技術の実証 農業用ICT機器の導入支援)	農政	一致	直結	A
			A		
080	<b>中山間地域いきいき暮らし活動支援事業費</b> 中山間地域において、農業を核として集落ぐるみで行う取り組みを支援 (対象：1集落 販路拡大のための農業用資機材の購入、ポスターの作成)	農政	間接・少数	間接・補完	-
			C		
090	<b>農畜産物生産向上事業費</b> 畜産物の価格安定に資する事業と家畜改良に資する事業に支援 (価格安定事業：養豚27,980頭、ブロイラー662千羽、肥育牛612頭 生産乳量5,083t、肉用牛肥育経営安定対策)	農政	一致	直結	C
			A		
100	<b>家畜防疫対策事業費</b> 肉用牛・乳用牛の家畜伝染性(呼吸器病)を未然に防ぐワクチン接種に支援 (肉用繁殖牛 1,697頭、乳用種 382頭)	農政	一致	間接・補完	B
			B		
110	<b>優良乳用牛確保対策事業費</b> 優良な後継雌牛を効率的に確保するため乳用牛の雌雄性判別精液利用に対する支援 (ホルスタイン種201頭、フランスイス種10頭)	農政	一致	直結	B
			A		
120	<b>水田農業経営安定事業費</b> 米の需給調整や経営所得安定制度の普及推進及び水田活用に向けた振興作物等の推進 (JA農畜産物販売額10,847百万円、経営所得安定対策による交付金額 2,354百万円)	農政	一致	直結	A
			A		
130	<b>花巻米生産確立支援事業費</b> 土づくりのためのケイ酸を含む土壌改良資材の投入に対する支援 (主食用米集荷数798千袋)	農政	一致	直結	A
			A		
140	<b>野生動物侵入防止緊急支援事業費</b> 豚熱、アフリカ豚熱等の家畜伝染病予防のため養豚場の周囲に野生動物侵入防止柵を整備 (対象となる経営体：4経営体6農場)	農政	一致	直結	C
			A		
150	<b>水産多面的機能発揮対策事業費</b> 漁業者を中心とする組織が実施する環境・生態系維持の活動に対して支援 (市内漁業協同組合受入遊漁料1,585千円)	農政	間接・少数	間接・補完	C
			C		